

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【公開番号】特開2012-10789(P2012-10789A)

【公開日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-003

【出願番号】特願2010-148151(P2010-148151)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行に応じて変化する遊技データを生成する遊技機と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の遊技用価値を使用して該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置とからなる遊技用システムであって、

前記遊技機は、

前記遊技データの変化量を特定する特定手段と、

前記変化量を特定可能な更新情報を前記遊技用装置へ送信する情報送信手段とを含み、

前記遊技用装置は、

前記遊技データを記憶する遊技データ記憶手段と、

前記更新情報を受信する情報受信手段と、

前記更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する遊技データ更新手段と、

前記遊技機に対し通信できない通信不能状態になったときに、該通信不能状態から復旧させて前記遊技機との間でのデータの整合性を回復させる復旧処理を行なう復旧処理手段とを含み、

前記遊技機は、前記通信不能状態が発生したときから前記復旧処理手段による復旧処理が実行されるまでの間において、前記特定手段により特定された遊技データの変化量を累積して記憶する通信不能時累積記憶手段を含み、

前記情報送信手段は、前記復旧処理手段による復旧処理が行なわれたことにより、前記通信不能時累積記憶手段に記憶されている遊技データの累積変化量を特定可能な累積更新情報を前記遊技用装置へ送信し、

前記遊技データ更新手段は、前記復旧処理が行なわれることにより、前記累積更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する、遊技用システム。

【請求項 2】

前記遊技機は、前記通信不能状態が発生したときに持点による遊技が行なわれない状態

にするための遊技禁止手段を含み、

前記通信不能時累積記憶手段は、前記通信不能状態が発生したときから前記遊技禁止手段により持点による遊技が行なわれない状態になった後前記遊技データが変化し得ない状態に達するまでの間において前記特定手段により特定された遊技データの変化量を累積して記憶する、請求項 1 に記載の遊技用システム。

【請求項 3】

前記遊技機は、前記通信不能状態が発生した後においても遊技を続行でき、

前記通信不能時累積記憶手段は、前記通信不能状態が発生した後前記復旧処理が行なわれるまでの間において前記特定手段により特定された遊技データの変化量を累積して記憶する、請求項 1 に記載の遊技用システム。

【請求項 4】

前記通信不能時累積記憶手段は、前記通信不能状態が発生する直前に前記遊技用装置に送信した遊技データの変化量である直前送信済み変化量をバックアップするために記憶しており、

前記情報送信手段は、前記直前送信済み変化量を特定可能な直前送信済み更新情報を前記累積更新情報に含めて前記遊技用装置へ送信し、

前記遊技用装置は、前記累積更新情報に含まれている前記直前送信済み更新情報を受信する前に前記通信不能状態が発生したか否かを判定する通信不能発生時期判定手段を含み、

前記遊技データ更新手段は、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信後であると判定されたときに、前記累積更新情報から前記直前送信済み更新情報を除いた情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する一方、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信前であると判定されたときに、前記直前送信済み更新情報を含めた前記累積更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する、請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれかに記載の遊技用システム。

【請求項 5】

遊技の進行に応じて変化する遊技データを生成する遊技機と通信可能に接続するための接続部を備え、遊技者所有の遊技用価値を使用して該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置であって、

前記遊技データを記憶する遊技データ記憶手段と、

前記遊技データの変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段と、

前記更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する遊技データ更新手段と、

前記遊技機に対し通信できない通信不能状態になったときに、該通信不能状態から復旧させて前記遊技機との間でのデータの整合性を回復させる復旧処理を行なう復旧処理手段とを含み、

前記情報受信手段は、前記通信不能状態が発生したときから前記復旧処理手段による復旧処理が実行されるまでの間において変化した遊技データの累積変化量を特定可能な累積更新情報を前記遊技機より受信し、

前記遊技データ更新手段は、前記復旧処理が行なわれることにより、前記累積更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する、遊技用装置。

【請求項 6】

前記情報受信手段は、前記通信不能状態が発生する直前に前記遊技機が送信した遊技データの変化量である直前送信済み変化量を特定可能な直前送信済み更新情報を含む前記累積更新情報を受信し、

前記累積更新情報に含まれている前記直前送信済み更新情報を受信する前に前記通信不能状態が発生したか否かを判定する通信不能発生時期判定手段をさらに含み、

前記遊技データ更新手段は、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信後であると判定されたときに、前記累積更新情報から前記直前送信済み更新情報を除いた情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する一方、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信前であると判定されたときに、前記直前送信済み更新情報を含めた前記累積更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する、請求項５に記載の遊技用装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

（４）前記通信不能時累積記憶手段は、前記通信不能状態が発生する直前に前記遊技用装置に送信した遊技データの変化量である直前送信済み変化量をバックアップするために記憶しており（図３９～図４６；前回玉数としての、加算玉数、減算玉数、始動口１回数および始動口２回数）、

前記情報送信手段は、前記直前送信済み変化量を特定可能な直前送信済み更新情報を前記累積更新情報に含めて前記遊技用装置へ送信し（図３９～図４６；前回玉数としての、加算玉数、減算玉数、始動口１回数および始動口２回数を含むリカバリデータをリカバリ応答として送信）、

前記遊技用装置は、前記累積更新情報に含まれている前記直前送信済み更新情報を受信する前に前記通信不能状態が発生したか否かを判定する通信不能発生時期判定手段（図３９～図４６；動作指示送信中であるか否か、ＳＱＮが一致しているか否か、に基づいて判定）を含み、

前記遊技データ更新手段は、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信後であると判定されたときに（図３９；動作指示送信中でかつＳＱＮが一致していると判定；図４０、図４２、図４４、図４６；Ｐ台側のＳＱＮがＣＵ側のＳＱＮより１つ前であると判定）、前記累積更新情報から前記直前送信済み更新情報を除いた情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する一方（ＣＵが現在玉数のバックアップデータのみに基づいてバックアップ値を修正する）、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信前であると判定されたときに（図４１、図４３、図４５；動作指示送信中でかつＳＱＮが一致していると判定）、前記直前送信済み更新情報を含めた前記累積更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する（ＣＵが現在玉数のバックアップデータばかりでなく前回玉数をも含めたバックアップデータに基づいてバックアップ値を修正する）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２６】

（６）前記情報受信手段は、前記通信不能状態が発生する直前に前記遊技機が送信した遊技データの変化量である直前送信済み変化量を特定可能な直前送信済み更新情報を含む前記累積更新情報を受信し（図３９～図４６；前回玉数としての、加算玉数、減算玉数、始動口１回数および始動口２回数を含むリカバリデータをリカバリ応答として受信）、

前記累積更新情報に含まれている前記直前送信済み更新情報を受信する前に前記通信不能状態が発生したか否かを判定する通信不能発生時期判定手段（図３９～図４６；動作指示送信中であるか否か、ＳＱＮが一致しているか否か、に基づいて判定）をさらに含み、

前記遊技データ更新手段は、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信後であると判定されたときに図 39；動作指示送信中でかつ S Q N が一致していると判定：図 40、図 42、図 44、図 46；P 台側の S Q N が C U 側の S Q N より 1 つ前であると判定）、前記累積更新情報から前記直前送信済み更新情報を除いた情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する一方（C U が現在玉数のバックアップデータのみに基づいてバックアップ値を修正する）、前記通信不能発生時期判定手段により前記通信不能状態が発生した時期が前記直前送信済み更新情報の受信前であると判定されたときに（図 41、図 43、図 45；動作指示送信中でかつ S Q N が一致していると判定）、前記直前送信済み更新情報を含めた前記累積更新情報に基づいて前記遊技データ記憶手段が記憶している遊技データを更新する（C U が現在玉数のバックアップデータばかりでなく前回玉数をも含めたバックアップデータに基づいてバックアップ値を修正する）。